



「子供たちに、一生の思い出を贈ろう！子供の体験格差解消プロジェクト」



友だちと海へ



好きな子と線香花火



おじいちゃんちでスイカ割り



「体験格差」とは何か



自然体験の不足

経済的に厳しい家庭の子どもたちは、自然に触れる機会が少なくなっています。



交流機会の減少

社会的に孤立しやすい環境にある子どもたちは、友人や大人との交流が限られています。



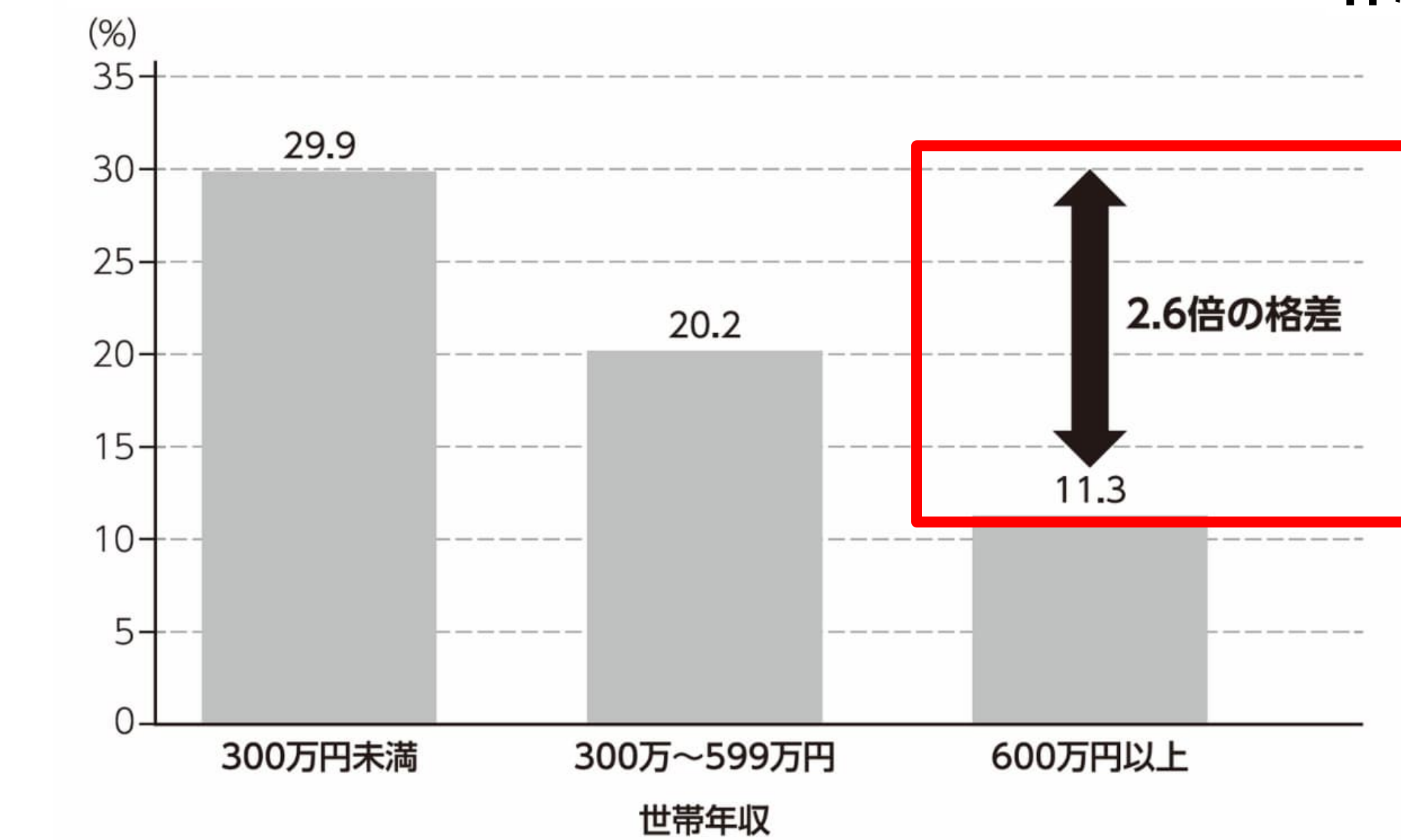
文化体験の格差

文化芸術を鑑賞する機会は、家庭の経済状況によって大きく異なります。

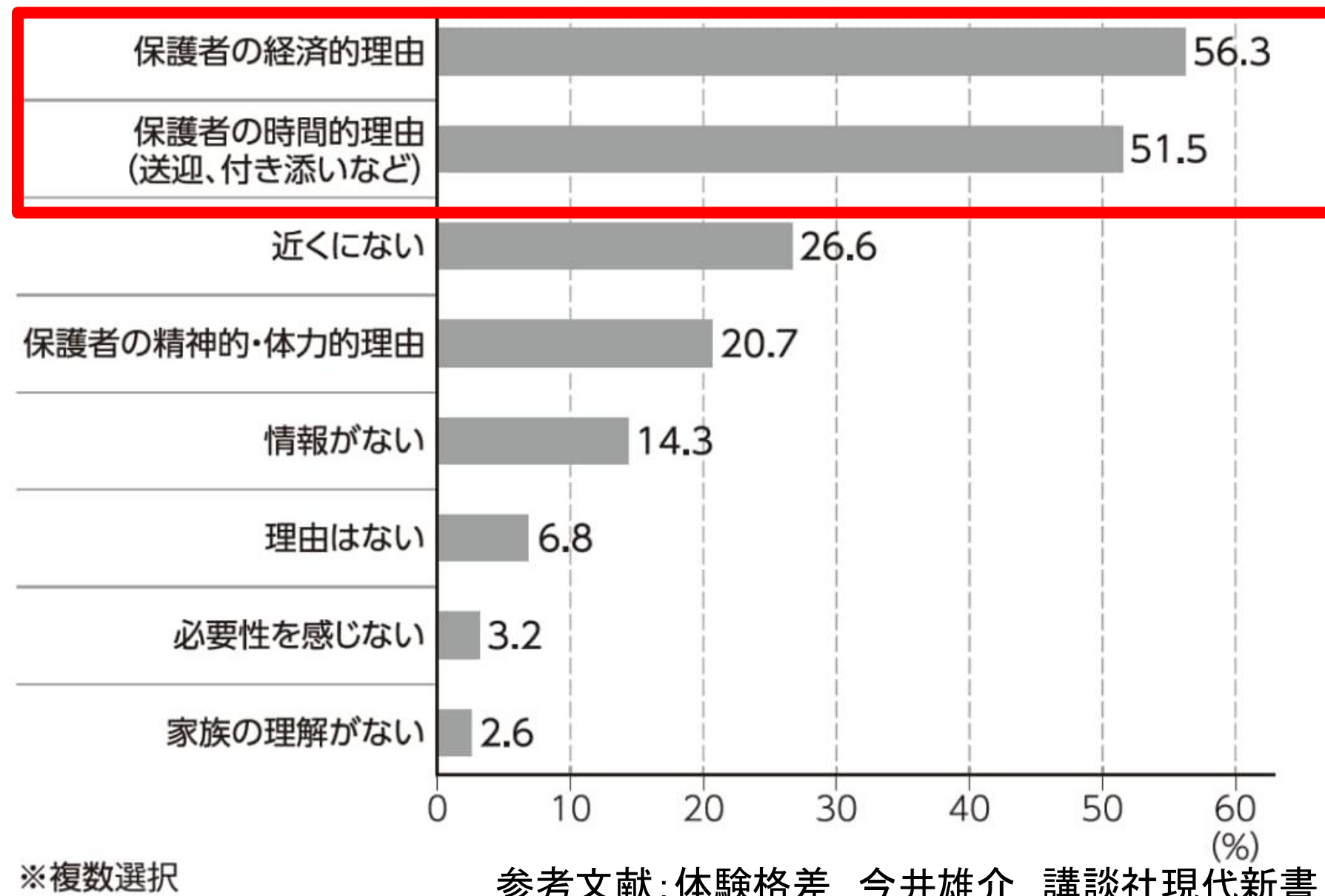


子供の約7人に1人が相対的貧困状態にあります。経済状況や家庭環境によって、自然体験や文化に触れる機会に大きな差があるのが現状です。私たちは、すべての子どもたちが様々な体験を通して「自分らしく生きる力」を育める社会を目指しています。

「体験ゼロ」の子どもの割合(世帯年収別)



体験させられなかった理由(世帯年収300万円未満の家庭)



深刻化する体験格差の現状

格差の再生産

裕福な家庭の子どもだけが様々な体験を得られる状況です。これにより、大人になってからの収入などの格差が再生産されています。

後回しにされる問題

「食事」や「学習」の支援に比べ、「体験」の格差は後回しになっています。しかし、体験は子どもの成長に不可欠な要素です。

世帯による体験への支出額の差は、世帯収入600万円以上世帯と世帯収入300万円未満の世帯では、「体験ゼロ」の子供の割合の格差が2.6倍そのうち、体験をさせてあげられなかった理由として、経済的理由と時間的理由を上げる割合が50%以上を占めています。

体験が育む「生きる力」



自分らしく生きる力

多様な体験が子どもの可能性を広げます



人間関係構築能力

様々な交流が社会性を育みます



やる気と思いやり

体験が情緒的成長を促します

私たちの解決策:彫刻とリアル謎解きゲームを融合！

参加者は、私達が作成したストーリーに沿って、出題される謎を親子で協力して解きながら、「ときわ公園」に点在する「野外彫刻」に隠されたキーワードを集めて謎を解きながら、自然に芸術鑑賞を行い、同時に、常磐公園の自然の景観も楽しめるように工夫。誰でも無償で、いつでも参加できるイベント展開で経済的・時間的な障壁を排除しました！

今年度 実施期間; 令和7年4月26日(土)～5月25日(日)
場所; ときわ公園 参加費; 無料

活動実績; イベント参加者数は右肩上がりで成長

祝 実施4年間で延べ10,000人突破！



野外彫刻と謎解きを融合

宇部市の芸術資産である野外彫刻とリアル謎解きゲームを組み合わせました。

自然と芸術の体験

ときわ公園の自然景観を楽しみながら、野外彫刻に隠されたキーワードを集めます。

無料で参加できるイベント

誰でも無償で参加できるイベントを開催し、経済的な障壁をなくしました。

地域との連携

宇部市ときわ公園企画課と文化振興課と連携して実施しています。



費用は、地元お祭りに出店して自分達で捻出！宇部市や地元企業と連携してイベント展開。地元小学生ともコラボレーション。ラジオ放送でPR！

娯楽は贅沢品ではなく、全ての子供たちに。

イベントを1から始めて4年。親子が楽しく芸術を鑑賞し、素晴らしい景観に触れ、親子の交流を通じた、様々な「はじめて」の体験が、子どもたちの新たな興味関心や意欲を引きだし、今後の生き方を考えるきっかけにも繋がっていくと信じています。ゴールデンウィークの1日。まずは、それだけでいいから。今後も、わたしたちの力で、「一生の思い出」を子どもたちにプレゼントしたいと考えています。宇部商 商業研究部より

